

# 平成25年愛知の労働災害発生状況

## 死亡災害は前年比較5人増加

— 愛知労働局安全課 —

愛知労働局（局長 新宅友穂）では、平成25年に発生した労働災害による死亡者数（確定）と死者数をとりまとめ、発表しています。全国安全週間準備期間における活動の参考としていただけるよう、次の通り紹介いたします。

### (1) 死亡災害の発生状況

平成25年の愛知県内における死亡災害は54人となった。

平成25年の確定値で、平成24年の確定値より5人の増加となった。

#### 【表1、グラフ1】

平成25年の死亡災害について、業種別で平成24年と比較すると、製造業が18人から17人、商業が4人から3人と減少したが、建設業が12人から16人、陸上貨物運送事業が8人から10人と増加した。これら4業種で死亡災害の85%を占めている。

#### 【表2、グラフ2】

### (2) 死亡災害の特徴

○ 事故の型別の発生状況  
平成25年の死亡災害を事故の型別で見ると、交通事故が16人、墜落・転

落が10人、はさまれ・巻き込まれが8人、激突さが7人となっており、この4つの型で76%を占めている。

#### 【表3、グラフ3】

○ 年齢別の発生状況  
交通事故については、平成24年より8人、激突されは、平成24年より6人と大幅な増加となった。

### ○ 年齢別の発生状況

平成25年の死亡災害を被災者の年齢別にみると、20歳以上29歳以下が4人、30歳以上39歳以下が10人、40歳以上49歳以下が10人、50歳以上59歳以下が12人、60歳以上が18人と発生している。50歳以上が55%を占めている。

#### 【グラフ4】

○ 事業場規模別の発生状況

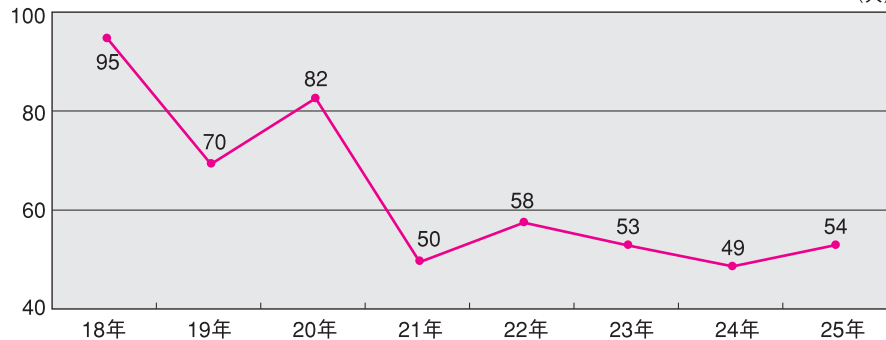
労働災害による死亡者数の推移【表1】【グラフ1】

(人)

		18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
死亡災害	全産業	95	70	82	50	58	53	49	54
	製造業	27	23	18	7	10	11	18	17
	建設業	30	21	25	10	16	13	12	16
	陸上貨物運送事業	11	5	12	15	10	11	8	10
	商業	11	7	7	4	6	4	4	3

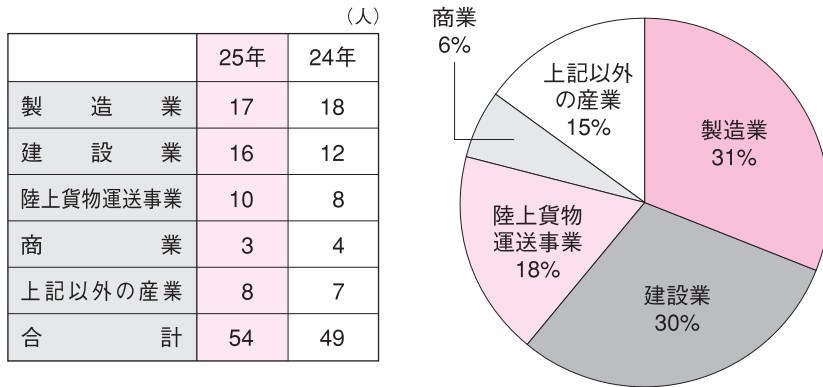
平成25年の死亡災害を事業場の規模別にみると、9人以下が16人、10人以上29人以下が8人、30人以上49人以下が12人と50人未満の小規模事業場で67%を占めている。

(人)



○ 経験年数別の発生状況  
平成25年の死亡災害を被災者の経験年数別にみると、1年未満が4人、1年以上5年未満が15人、5年以上10年未満が11人、15年以上20年未満が7人、

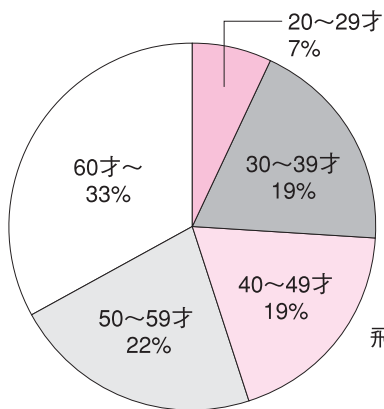
業種別死亡災害発生状況【表2】【グラフ2】



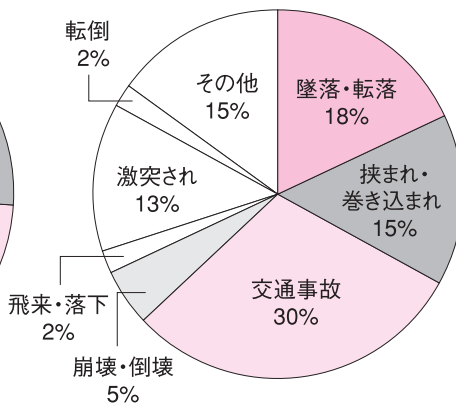
事故の型別死亡災害発生状況【表3】

	全業種	製造業	建設業	陸上貨物	商業
墜落・転落	10	3	6	1	0
挟まれ・巻き込まれ	8	5	2	1	0
交通事故	16	3	1	8	2
崩壊・倒壊	3	0	2	0	0
飛来・落下	1	1	0	0	1
激突され	7	2	2	0	0
転倒	1	1	0	0	0
その他	8	2	3	0	0
合計	54	17	16	10	3

平成25年 年齢別死亡災害発生状況 (全業種)【グラフ4】



平成25年 事故の型別死亡災害 (全業種)【グラフ3】



【グラフ11】  
 は認められな  
 突出した年代  
 いるが、特に  
 の順となつて  
 93人(21%)  
 50歳代が13  
 人(22%)、  
 上が1445  
 人(22%)、  
 50歳代が1  
 3人(21%)、  
 93人(21%)  
 の順となつて  
 いるが、特に  
 突出した年代  
 は認められな  
 い。

【グラフ10】  
 いる。  
 と3つの型で  
 54%を占めて  
 いる。  
 生状況  
 ○年齢別の発  
 生状況  
 40歳代が1  
 01人(23  
 %)、60歳以  
 上(22%)、  
 人が1445  
 人(22%)、  
 50歳代が1  
 3人(21%)、  
 93人(21%)  
 の順となつて  
 いるが、特に  
 突出した年代  
 は認められな  
 い。

○月別の発生状況  
 平成25年の死亡災害を  
 月別にみると、7月が8  
 10年以上15年未満が6人、  
 20年以上が11人であり全  
 経験年齢に渡って発生し  
 ている。

人と最も多くなっている。  
 (3)労働災害による死傷  
 者数の発生状況  
 平成25年の愛知県内に  
 おける労働災害による死  
 傷者数(休業4日以上)  
 は、6534人であった。

(4)死傷災害の特徴  
 労働災害による死傷者  
 数は、平成24年は2年ぶ  
 りに減少したものの、平  
 成25年は再び142人の  
 増加となった。  
 【表8、グラフ8】

○業種別の発生状況  
 製造業が2037人と  
 最も多く、災害発生件数  
 全体の31%を占めている。  
 次のいで、陸上貨物運送事  
 業が913人(14%)、  
 商業が862人(13%)、  
 建設業が711人(11%)、

【表9、グラフ9】  
 の順になつている。  
 ○事故の型別の発生状況  
 転倒が1361人(21  
 %)、墜落・転落が10  
 92人(17%)、はさま  
 れ・巻き込まれが107  
 0人(16%)、

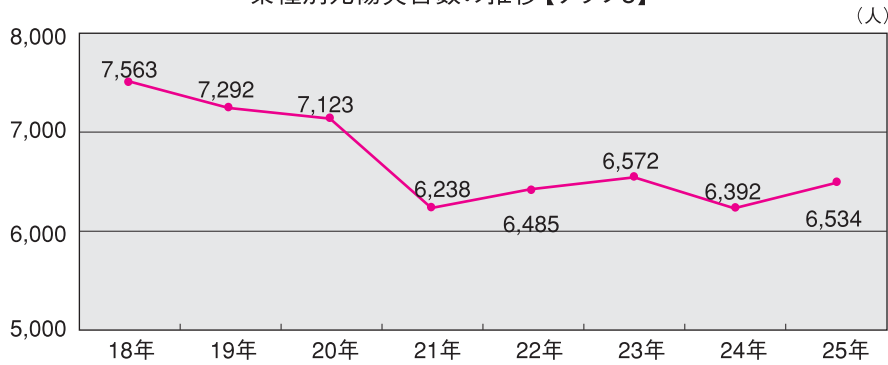
業種別死傷災害数の推移【表8】

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
全産業	7,563	7,292	7,123	6,238	6,485	6,572	6,392	6,534
製造業	2,743	2,705	2,429	1,974	2,119	2,120	2,060	2,037
建設業	981	840	834	703	677	701	627	711
陸上運送業	1,085	1,057	970	856	893	907	926	913
商業	929	873	975	926	937	970	911	862
上記以外の産業	1,825	1,817	1,915	1,779	1,859	1,874	1,868	2,011

(人)

○事業場規模別の発生状況  
規模10人～29人の事業場が1646人(25%)、規模9人以下の事業場が1317人(20%)と30人未満の小規模事業場が、

業種別死傷災害数の推移【グラフ8】



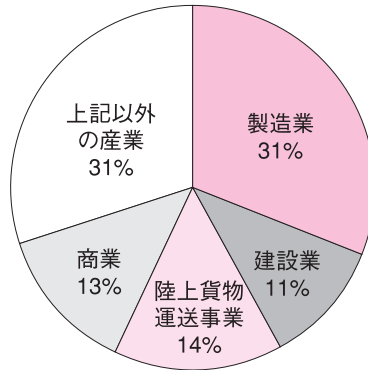
(人)

45%を占めている。  
(5)まとめ  
平成25年の死亡災害件数は、確定値で54人となり平成24年の確定値より5人の増加となり、死亡

平成25年 業種別死傷災害発生状況【表9】【グラフ9】

	25年
製造業	2,037
建設業	711
陸上貨物運送事業	913
商業	862
上記以外の産業	2,011
合計	6,534

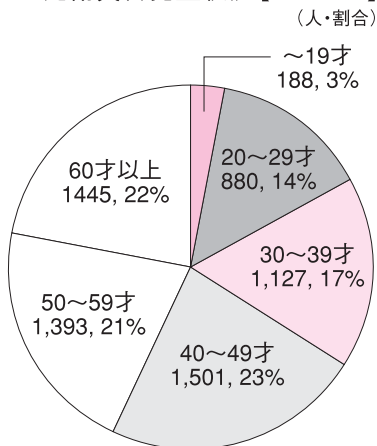
(人)



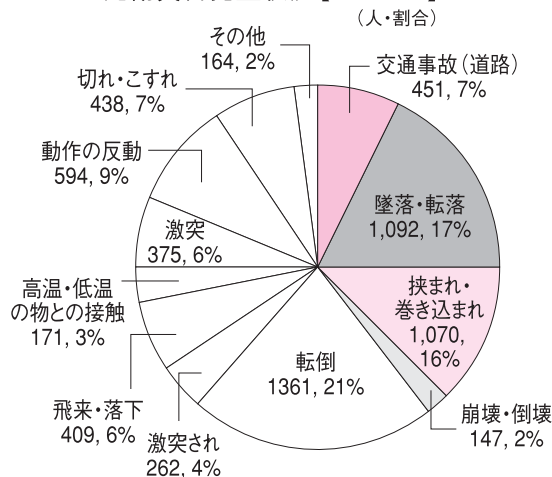
災害は、長期的には減少傾向であるものの、近年は横ばい状態の状況と言える。  
平成25年は、第12次労働災害防止推進計画の初年度であり、当該計画の

目標は、平成29年に死亡者数を40人下回ること、死傷者数を5年間で15%削減することとしており、今後当該目標の達成に向け、より一層の労働災害防止

平成25年 年齢別死傷災害発生状況【グラフ11】



平成25年 事故の型別死傷災害発生状況【グラフ10】



対策の徹底を図ることとしている。